



# 山形県の労働災害の現況

令和6年版

## 【令和5年の労働災害発生状況】

死亡者数は6人で前年比で2人減少

死傷者数は1,626人で前年比で39.8%減少（新型コロナを含む）

コロナを除くと「転倒」「墜落・転落」災害が多く発生している

### 山形県における労働災害


- 1 労働災害の推移 ..... P 1
- 2 過去10年間の業種別労働災害発生状況 ..... P 2

### 令和5年に発生した労働災害の分析

- 1 事故の型・起因物別死傷者数
  - 全産業 ..... P 3
  - 製造業 ..... P 4
  - 建設業 ..... P 4
  - 陸上貨物運送事業 ..... P 5
  - 林業 ..... P 5
  - 小売業 ..... P 5
  - 社会福祉施設 ..... P 6
  - 飲食業 ..... P 6
- 2 冬期型災害の発生状況(平成27年冬以降) ..... P 6
- 3 交通労働災害が占める割合 ..... P 6
- 4 業種別の事業場規模別・経験年数別・年齢別の割合
  - 事業場規模別 ..... P 7
  - 経験年数別 ..... P 7
  - 年齢別 ..... P 7
- 5 月別の死傷者数 ..... P 7

### 令和5年に発生した死亡災害等事例

- 1 死亡災害 ..... P 8
- 2 工業中毒災害 ..... P 9

 厚生労働省

# 山形労働局

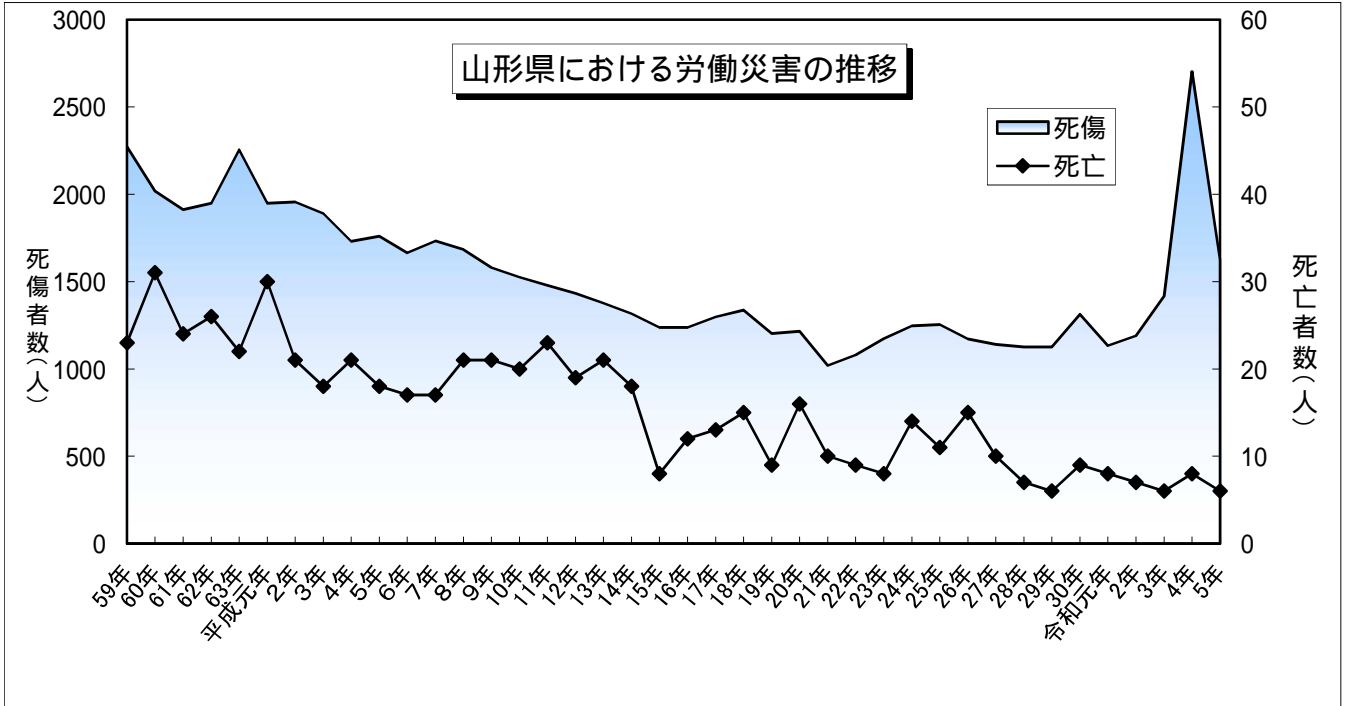


# 山形県における労働災害

## - 1 労働災害の推移

死傷者数(休業4日以上)は、長期的には減少してきたものの、過去最少となった平成21年以降は下げ止まりの傾向となり、令和2年からは増加傾向となっている。

死亡者数は、初めて10人未満を記録した平成15年以降は年間10人前後で推移し、直近の8年間は連続して10人を下回っており、令和5年は過去最少だった平成29年と同数の6人となった。



死傷者数

年	死傷	増減率	死亡
昭和59年	2,271	6.2%	23
昭和60年	2,018	-11.1%	31
昭和61年	1,911	-5.3%	24
昭和62年	1,948	1.9%	26
昭和63年	2,255	15.8%	22
平成元年	1,949	-13.6%	30
平成2年	1,956	0.4%	21
平成3年	1,889	-3.4%	18
平成4年	1,731	-8.4%	21
平成5年	1,760	1.7%	18
平成6年	1,664	-5.5%	17
平成7年	1,732	4.1%	17
平成8年	1,683	-2.8%	21
平成9年	1,581	-6.1%	21
平成10年	1,525	-3.5%	20
平成11年	1,478	-3.1%	23
平成12年	1,432	-3.1%	19
平成13年	1,377	-3.8%	21
平成14年	1,316	-4.4%	18
平成15年	1,238	-5.9%	8
平成16年	1,237	-0.1%	12
平成17年	1,297	4.9%	13
平成18年	1,336	3.0%	15
平成19年	1,203	-10.0%	9
平成20年	1,215	1.0%	16
平成21年	1,020	-16.0%	10
平成22年	1,080	5.9%	9
平成23年	1,173	8.6%	8
平成24年	1,246	6.2%	14
平成25年	1,253	0.6%	11
平成26年	1,171	-6.5%	15
平成27年	1,140	-2.6%	10
平成28年	1,126	-1.2%	7
平成29年	1,126	0.0%	6
平成30年	1,313	16.6%	9
令和元年	1,132	-13.8%	8
令和2年	1,190	5.1%	7
令和3年	1,417	19.1%	6
令和4年	2,703	90.8%	8
令和5年	1,626	-39.8%	6

年表

年	主な出来事
H1年	「ノー労災デー(6月20日)」を設定
H2.3	水蒸気爆発(キューボラ) 2人死亡・8人重軽傷(山形市)
H9年	「年末無災害大運動」実施
H11.9	都市ガス会社爆発 12人火傷(新庄市)
H11年	建設業死亡災害多発 12人
H12.12	雪崩災害3人死亡(立川町)
H14年	「冬期型労災防止強調運動」実施
H15年	死亡災害過去最少 8人(全国最少)
H15年	「安全週間、県下一斉パトロール」を開始
H15年	「冬の労災をなくそう運動」を開始
H17.12	羽越線脱線事故 5人死亡・32人負傷
H21年	死傷災害過去最少 1,020人
H23年	死亡災害過去最少 8人(H15年同数) 冬期災害多発
H24年	「山形ゼロ災3か月運動」を開始
H25年	死傷災害4年連続増加
H26年	5年ぶりに死傷災害減少
H29年	死亡災害過去最少 6人
H30年	死傷災害大幅増加、12年ぶりに1,300人超
R4年	新型コロナウイルス感染症拡大

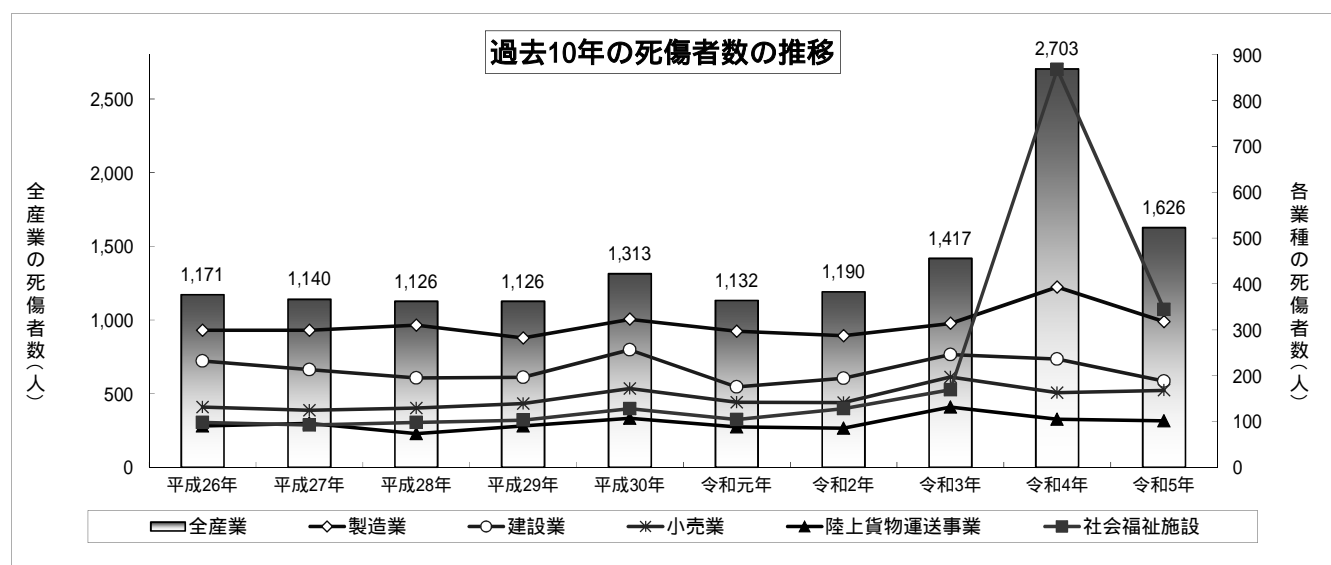
死傷は休業4日以上の死傷者数(人)。死亡は死傷の内数。

- 2 過去10年間の業種別労働災害発生状況

(単位:人)

業 種	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 産 業	(15) 1,171	(10) 1,140	(7) 1,126	(6) 1,126	(9) 1,313	(8) 1,132	(7) 1,190	(7) 1,417	(8) 2,703	(6) 1,626
対前年増減率 (%)	-6.5	-2.6	-1.2		+16.6	-13.8	+5.1	+19.1	+90.8	-39.8
(内 訳)										
製 造 業	(2) 299	(2) 299	(2) 310	(1) 282	(2) 323	297	(1) 287	(2) 314	(1) 393	(1) 318
食 料 品	(1) 88	88	85	74	111	96	(1) 96	113	138	(1) 90
木材木製品・家具	26	30	26	19	18	24	23	12	19	24
化 学 工 業	10	17	17	22	13	12	13	15	20	27
窯業土石製品	8	(2) 15	18	18	14	13	16	18	14	10
鉄鋼～金属製品	49	52	58	48	55	51	47	(1) 57	48	41
一般機械器具	29	(2) 21	(1) 31	27	29	22	21	(1) 28	41	28
電気機械器具	33	26	(1) 38	(1) 25	(1) 35	22	21	19	(1) 44	33
土石採取業等	5	3	6	5		6	(1) 5	(1) 5	11	11
建 設 業	(8) 232	(2) 213	(3) 195	(2) 196	(4) 256	(4) 175	(4) 194	(3) 246	(4) 236	(3) 188
土 木 工 事 業	(4) 76	71	(2) 64	(1) 75	(1) 69	(1) 54	(2) 68	(1) 75	(3) 65	(2) 52
建 築 工 事 業	(4) 139	(1) 117	(1) 111	(1) 100	(2) 156	(3) 107	(2) 102	(2) 159	135	114
木造家屋	53	(1) 41	47	39	(2) 70	48	(1) 42	49	42	38
その他の建設	17	(1) 25	20	21	(1) 31	14	24	12	(1) 36	(1) 22
運 輸 業	(4) 101	(1) 101	(1) 80	109	119	(1) 97	97	144	(2) 124	(2) 119
陸上貨物運送事業	(4) 90	(1) 96	(1) 73	90	107	88	85	131	105	(2) 101
農林・畜産・水産業	48	(3) 51	50	22	(1) 55	(1) 43	45	53	(1) 45	55
林 業	25	(3) 22	21	7	(1) 12	(1) 15	9	12	(1) 11	16
商 業	(1) 168	(1) 156	167	(2) 185	(1) 210	178	184	232	201	208
小 売 業	(1) 131	124	129	(2) 139	(1) 172	142	141	197	163	168
通 信 業	26	22	26	26	21	23	(1) 17	9	20	22
保 健 衛 生 業	132	121	118	129	152	125	178	216	1,433	508
社会福祉施設	98	92	98	103	128	104	128	169	868	344
接 客 娛 楽 業	67	68	76	62	63	(1) 85	63	(1) 71	106	68
飲 食 店	24	25	34	28	24	43	28	28	50	36
清 掃 ・ と 畜 業	39	(1) 37	43	(1) 47	51	(1) 43	47	46	60	46
上記以外の事業	54	69	(1) 55	63	(1) 63	60	73	81	74	83
(参考)第三次産業	(1) 486	(2) 473	(1) 485	(3) 512	(2) 560	(2) 514	(1) 562	(1) 655	1,894	935

( )内は死亡者数で内数、「木造家屋」は「建築工事業」の内数である。



# 令和5年に発生した労働災害の分析

## - 1 事故の型・起因物別死傷者数

### [ 全 産 業 ]

上段の( )は死亡者数で内数

起因物 事故の型	動力機械							物上げ装置、 運搬機械			装置等										仮設物・ 建築物・ 構築物	物質、 材料	環 境 等	その他			総 計								
	原 動 機	動 力 伝 達 機 構	木 材 加 工 機 械	建 設 機 械 等	金 属 加 工 機 械	一 般 動 力 機 械	車 両 系 木 材 伐 出 機 械 等	動 力 ク レ ーン 等	動 力 運 搬 機 物	乗 物	圧 力 容 器	化 学 設 備	溶 接 装 置	炉 窯 等	電 気 設 備	人 力 機 械 工 具 等	用 具	そ の 他 の 装 置 、 設 備	危 険 物 、 有 害 物 等	材 料				荷 重	環 境 等	そ の 他 の 起 因 物		起 因 物 な し	分 類 不 能						
墜落、転落			2	2		2		4	33	3					1	66	1	(1)				5	5				(1)	203 (12.5%)							
転倒				2					6	8				3	8	28	2	330		8	11	11	7	10			434 (26.7%)								
激突			1	2	1	1			5	5					10	3	4	17		4	3	3	2	2			63 (3.9%)								
飛来、落下			2	3	5	2		1	1			1	1			7	2	3		15	4	2					49 (3.0%)								
崩壊、倒壊																		2		(1)	5	1	1				(1)	9 (0.6%)							
激突され			1	2	1			3	3	3					1	3	1	3	1	4	2	7	2	1	1		39 (2.4%)								
はさまれ、 巻き込まれ	1	3	4	5	12	29		8	18	2					7	5	2	11		8	7	2	1				125 (7.7%)								
切れ、こすれ		1	17		3	11									17	4	1	4		11		1	2		1		73 (4.5%)								
踏み抜き																			1								1 (0.1%)								
おぼれ																						(1)					(1)	1 (0.1%)							
高温・低温 の物との接 触						3			1		1		1					1	1		1	24					(1)	34 (2.1%)							
有害物等と の接触												1								5								6 (0.4%)							
感電															2													2 (0.1%)							
爆発													1							1								2 (0.1%)							
破裂																1								1				2 (0.1%)							
火災																																			
交通事故 (道路)									(1)										1									(1)	33 (2.0%)						
交通事故 (その他)									11	21																									
動作の反動、 無理な動作				1	1				3	2					8	5		26		4	33	3	42	54	1		183 (11.3%)								
その他					1							1		1		1				2	1		4	350	4	1	(1)	366 (22.5%)							
分類不能									1																			1 (0.1%)							
総計	1	4	27	17	24	48		16	82	44	1	2	2	3	6	52	123	13	(1)	478	(1)	(2)	(1)	4		(6)	1,626 (100%)								
(起因物大分類の計)			121 (7.4%)					142 (8.7%)				202 (12.4%)							478 (29.4%)			70 (4.3%)			67 (4.1%)			64 (3.9%)			407 (25.0%)			482 (29.6%)	

- ・事故の型別では、「転倒」、「その他」(主として新型コロナウイルス感染症)、「墜落、転落」、「動作の反動、無理な動作」、「はさまれ、巻き込まれ」の順で多い。
- ・起因物別では、大分類で、「その他」(主として新型コロナウイルス感染症)、「仮設物、建築物等」、「装置等」、「物上げ装置、運搬機械」、「動力機械」の順で多い。
- ・事故の型と起因物の組み合わせでは、「その他」の「その他の起因物」(主として新型コロナウイルス感染症)、「仮設物・建築物等」での「転倒」、「物上げ装置、運搬機械」、「装置等」、「仮設物、建築物」からの「墜落、転落」、「動力機械」による「はさまれ、巻き込まれ」、「荷」、「その他」による「動作の反動、無理な動作」等が多い。

## 【 製 造 業 】

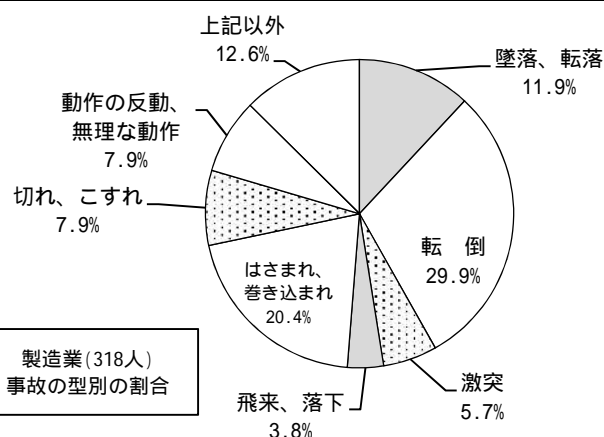
起因物 型	動力機械	物上げ装置、 運搬機械	装置等	建築物等	物質、材料	荷	環境等	左記以外	総 計
墜落、転落	2	7	14	12		2	1		38 ( 11.9% )
転 倒		3	9	75	1	4	1	2	95 ( 29.9% )
激 突	2	2	8	5			1		18 ( 5.7% )
飛来、落下	4	1	2		4	1			12 ( 3.8% )
はさまれ、 巻き込まれ	40	11	7	4	2	1			65 ( 20.4% )
切れ、こすれ	18		4		3				25 ( 7.9% )
動作の反動、 無理な動作			4	5		7		9	25 ( 7.9% )
上 記 以 外	4	8	9	2	8	1	5	3	40 ( 12.6% )
総 計	70 ( 22.0% )	32 ( 10.1% )	57 ( 17.9% )	103 ( 32.4% )	18 ( 5.7% )	16 ( 5.0% )	8 ( 2.5% )	14 ( 4.4% )	318 ( 100.0% )

「建築物等(屋内作業場、通路、階段等)」における「転倒」が多い。

「動力機械」による「はさまれ、巻き込まれ」「切れ、こすれ」が多い。

「装置等」からの「墜落、転落」が多い。

「上記以外」のうち、コロナ関連は1人である。



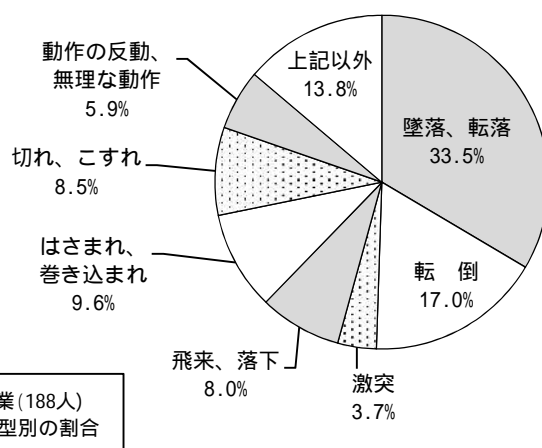
## 【 建 設 業 】

起因物 型	動力機械	物上げ装置、 運搬機械	装置等	仮設物等	物質、材料	荷	環境等	左記以外	総 計
墜落、転落	1	5	25	29		1	2		63 ( 33.5% )
転 倒			2	24	2	1	1	2	32 ( 17.0% )
激 突	1	2		2	2				7 ( 3.7% )
飛来、落下	5		2	3	4	1			15 ( 8.0% )
はさまれ、 巻き込まれ	6	5	2	2	2		1		18 ( 9.6% )
切れ、こすれ	7		4	1	4				16 ( 8.5% )
動作の反動、 無理な動作	1			1	3	1	1	4	11 ( 5.9% )
上 記 以 外	1	6	1	2	5		9	2	26 ( 13.8% )
総 計	22 ( 11.7% )	18 ( 9.6% )	36 ( 19.1% )	64 ( 34.0% )	22 ( 11.7% )	4 ( 2.1% )	14 ( 7.4% )	8 ( 4.3% )	188 100.0%

「仮設物等(足場、屋根等)」「装置等」からの「墜落、転落」が多い。

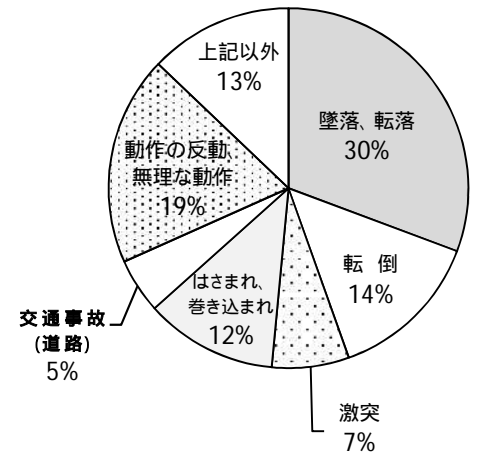
「仮設物等」での「転倒」が多い

「上記以外」のうち、3人が熱中症である。



## [陸上貨物運送事業]

起因物 型	物上げ装置 運搬機械	装置等	建築物等	荷	左記以外	総計
墜落、転落	(3) 16	(1) 4	8	(1) 1	(1) 2	(16) 31 ( 30.7% )
転倒		(1) 2	(4) 11		(1) 1	(6) 14 ( 13.9% )
激突	2	(1) 2		(1) 2	1	(2) 7 ( 6.9% )
はさまれ、 巻き込まれ	(5) 6			(1) 4	2	(6) 12 ( 11.9% )
交通事故 (道路)	(1) 5					(1) 5 ( 5.0% )
動作の反動、 無理な動作	(1) 1	(1) 1	(1) 2	(7) 13	2	(10) 19 ( 18.8% )
上記以外	(1) 2	1	(1) 1	(1) 2	(2) 7	(5) 13 ( 12.9% )
総計	(21) 32 ( 31.7% )	(4) 10 ( 9.9% )	(6) 22 ( 21.8% )	(11) 22 ( 21.8% )	(4) 15 ( 14.9% )	(46) 101 ( 100.0% )

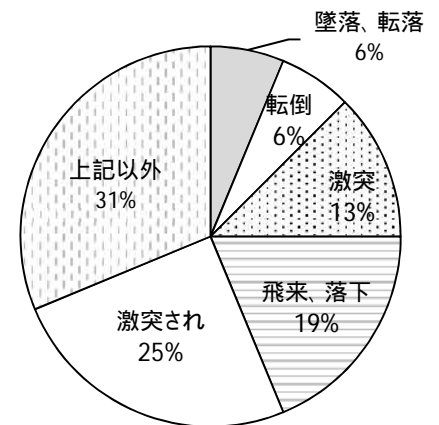


「物上げ装置、運搬機械(トラック等)」からの「墜落、転落」と「荷」による「動作の反動、無理な動作」が多い。

注 左側斜体 ( ) 数字は「荷主先」での死傷者数(内数)である。

## [ 林 業 ]

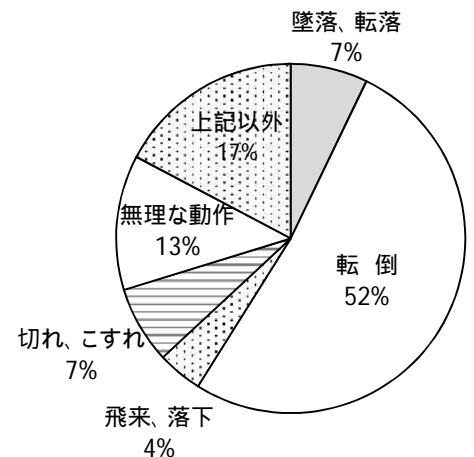
起因物 型	動力機械	物上げ装置 運搬機械	物質 材料	環境等	左記以外	総計
墜落、転落				1		1 ( 6.3% )
転倒					1	1 ( 6.3% )
激突	2					2 ( 12.5% )
飛来、落下	2			1		3 ( 18.8% )
激突され	1		1	2		4 ( 25.0% )
上記以外		1		3	1	5 ( 31.3% )
総計	5 ( 31.3% )	1 ( 6.3% )	1 ( 6.3% )	7 ( 43.8% )	2 ( 12.5% )	16 ( 100.0% )



注) 起因物の分類で、伐倒木は「環境等」に分類される。

## [ 小 売 業 ]

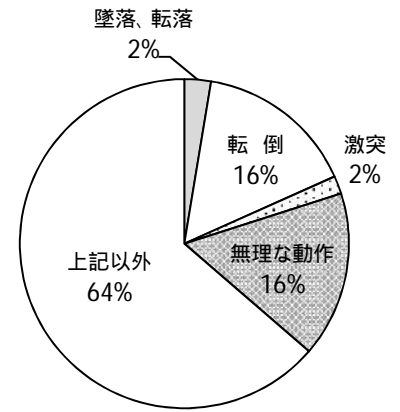
起因物 型	物上げ装置 運搬機械	装置等	建築物等	荷	左記以外	総計
墜落、転落	3	2	6		1	12 ( 7.1% )
転倒	5	11	64	5	2	87 ( 51.8% )
飛来、落下		3			4	7 ( 4.2% )
切れ、こすれ		5			7	12 ( 7.1% )
無理な動作	1	5	5	3	7	21 ( 12.5% )
上記以外	4	3	3		19	29 ( 17.3% )
総計	13 ( 7.7% )	29 ( 17.3% )	78 ( 46.4% )	8 ( 4.8% )	40 ( 23.8% )	168 ( 100.0% )



「建築物等(作業場所、通路、階段)」における「転倒」が多い。

## [ 社会福祉施設 ]

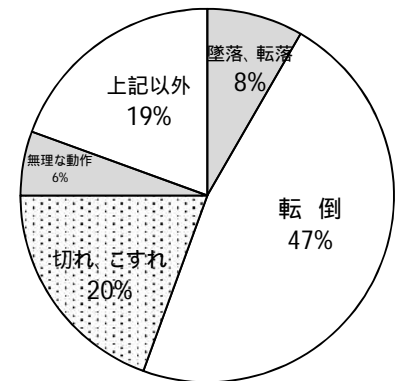
型	起因物	起因物					総計
		物上げ装置、 運搬機械	装置等	建築物等	環境等	左記以外	
墜落、転落		1	2	6			9 ( 2.6% )
転倒			6	42	2	4	54 ( 15.7% )
激突		1	2	2		1	6 ( 1.7% )
無理な動作			1	6		49	56 ( 16.3% )
上記以外		5	2		1	211	219 ( 63.7% )
総計		7	13	56	3	265	344 ( 100.0% )
		( 2.0% )	( 3.8% )	( 16.3% )	( 0.9% )	( 77.0% )	( 100.0% )



「建築物等」における「転倒」と「無理な動作」による災害が多い。  
 「上記以外」のうち、208人が新型コロナウイルス関連である。

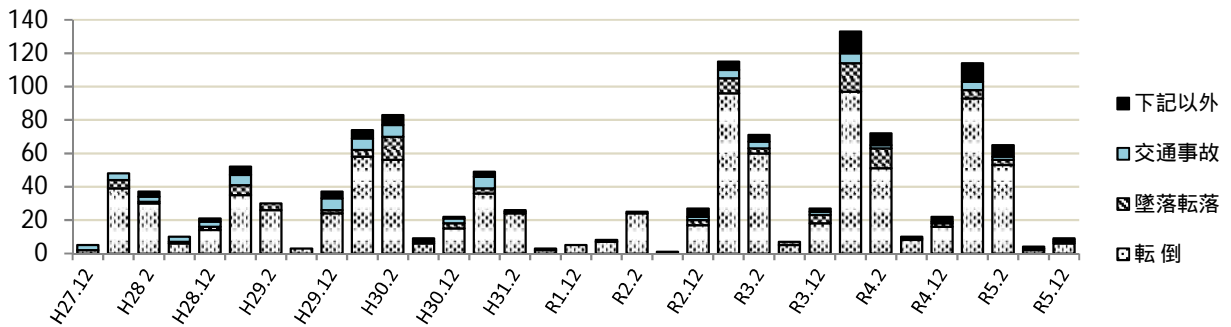
## [ 飲食店 ]

型	起因物	起因物					総計
		動力機械	装置等	建築物等	物質、材料	左記以外	
墜落、転落			2	1			3 ( 8.3% )
転倒			2	12	1	2	17 ( 47.2% )
切れ、こすれ		1	5			1	7 ( 19.4% )
無理な動作			1	1			2 ( 5.6% )
上記以外			1		1	5	7 ( 19.4% )
総計		1	11	14	2	8	36 ( 100.0% )
		( 2.8% )	( 30.6% )	( 38.9% )	( 5.6% )	( 22.2% )	( 100.0% )

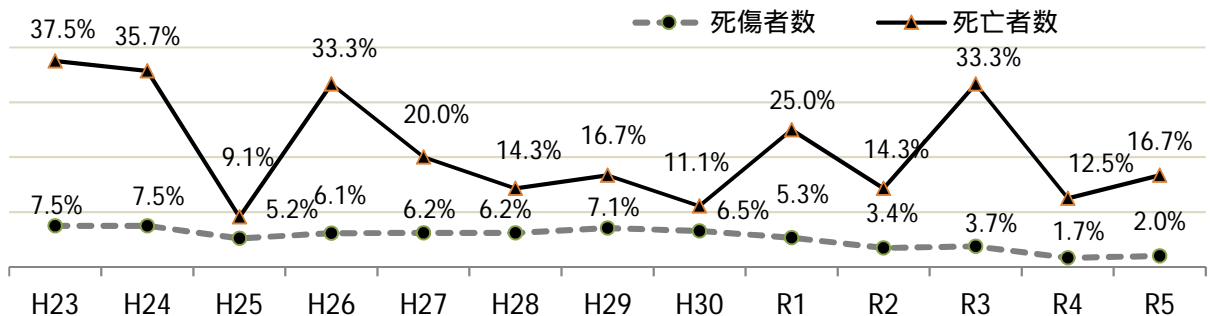


「建築物等」「装置等」における「転倒」が多い。

### - 2 冬期型災害の発生状況 (平成27年冬以降)



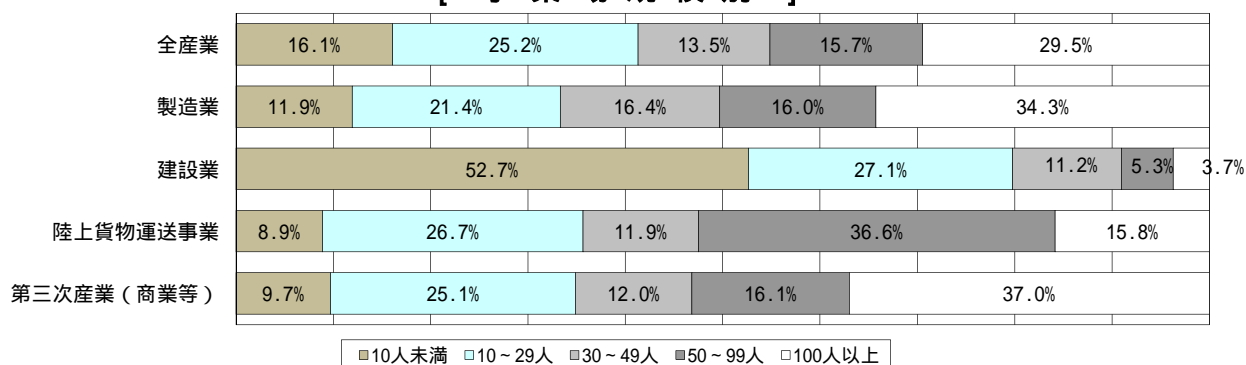
### - 3 交通労働災害が占める割合



令和5年における交通労働災害による死亡者数は1人である。

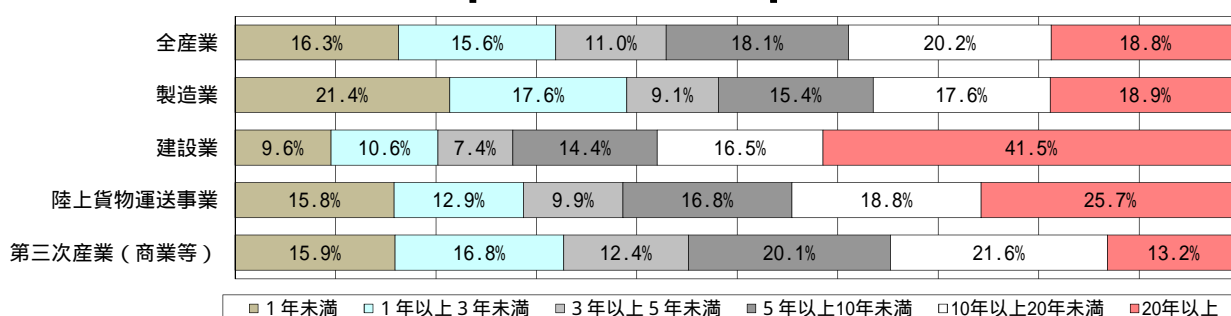
## - 4 業種別の事業場規模別・経験年数別・年齢別の割合

### [ 事業場規模別 ]



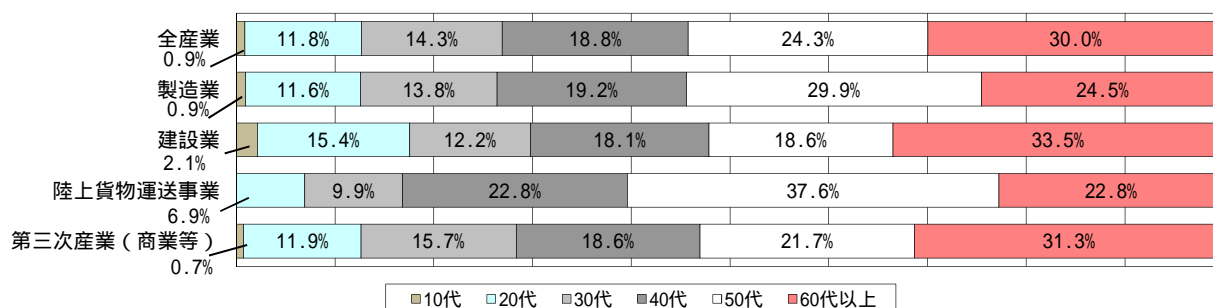
全産業では規模50人未満の事業場が全体の54.8%を占める

### [ 経験年数別 ]



全産業では経験10年未満の被災者が全体の61%を占める

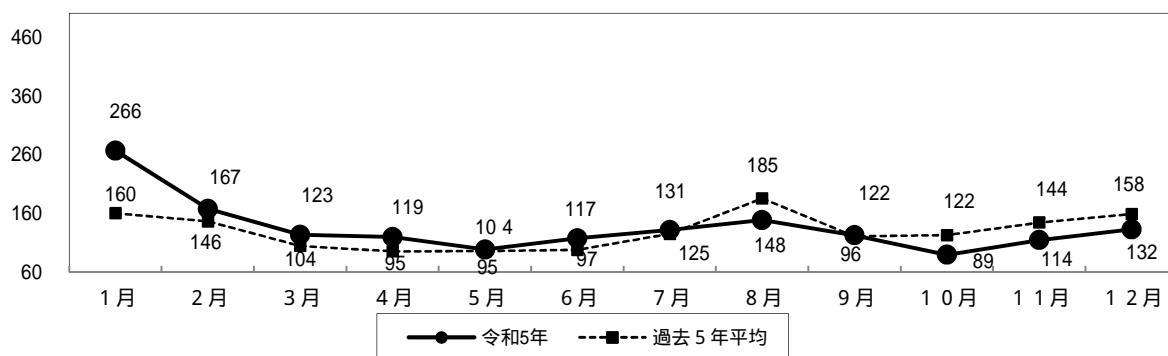
### [ 年齢別 ]



全産業では年齢50代以上の被災者が全体の54.3%を占める

## - 5 月別の死傷者数

### [ 月別 ]





# 令和5年に発生した死亡災害等事例

## - 1 死亡災害

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	4月 6-7	運輸交通業	交通事故 (道路) トラック	貨物自動車(最大積載重量3.5t)を運転し、高速車道を走行中、トンネル入口手前で路肩からはみ出し、擁壁に接触した後、トンネル翼壁に激突し、運転していた被災者が死亡したものの。	1名
2	7月 9-10	運輸交通業	墜落・転落 屋根、はり、も や、けた、合掌	作業員の休憩施設として利用していた平屋プレハブ小屋の 下家解体のため、被災者が勾配約15度の屋根上でトタン板を 固定していたビスを外す作業を行っていたところ、2m14cm下の 地面に墜落し死亡したものの。	1名
3	8月 16-17	建設業	高温・低温の 物との接触 高温・低温環境	発電所の保守業務として導水路の草刈り作業中、被災者と外 の作業員が作業場所から一旦車両に戻った後、被災者単独で 道具を取りに作業場に戻ることにしたが、その後道に倒れてい た被災者が発見され、意識が朦朧とした状態なので緊急搬送 されたが死亡が確認されたものの。	1名
4	10月 8-9	建設業	おぼれ 水	河川整備護岸工事現場において、河川にコルゲ - ト管を敷 いて仮設の通路を設置し、当日は右岸側のコンクリ - ト打設作 業を行なおうとしていたが、重機の周辺で作業中の被災者の行 方が不明になり、捜索したところ、約3時間後、工所用道路の仮 設水管であるコルゲ - ト管に吸い込まれた状態で発見され死 亡が確認されたものの。	1名
5	11月 8-9	建設業	崩壊・倒壊 金属材料	ホイスト式橋形クレーンの横行レール補強作業中、架台の上 の治具に載せていたI形鋼が治具ごと崩壊して、近くで作業中 の被災者がI形鋼の下敷きになるとともに、付近にあった鉄骨材 に頭部が激突して負傷し、その後死亡が確認されたものの。	1名

上記以外に「異常な出来事による脳・心臓疾患」に認定されたものが1件

## - 2 工業中毒災害

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	2月 8-9	製造業	有害物等との接触 その他の有害物	機械部品の洗浄処理を行う工程において、電気分解槽内の 処理液交換作業中、処理液(過マンガン酸カリウムと水酸化ナト リウムの混合液)を専用のタンクに移したところ、タンクに残留し ていた塩酸と過マンガン酸カリウムが反応して塩素ガスが発生 し、吸引した作業員4名が被災したものの。	4名
2	8月 5-6	その他の 事業	有害物等との接触 その他の有害物	ごみ処理施設機械設備のボイラへ供給する純水精製装置 に異常が発生し、現場にかけつけた作業員3名が目と喉に刺 激を感じて被災したものの。純水精製装置のろ材再生(清掃)を苛 性ソ - ダ及び塩酸を使用するが、塩酸が通る配管のバルブに 穴が開いていることが判明した。	3名
3	9月 11-12	製造業	有害物等との接触 その他の有害物	薬品製造工程の脱臭槽の詰まりを解消する作業中の被災者 が、水分補給をしようと防毒マスクを外したところ、意識を消失し て転倒し頭部を受傷、その後硫化水素中毒と診断された。災 害発生時、脱臭槽に接続する配管に亀裂が生じており、その 付近から硫化水素ガスが漏れ出してばく露したものと推定され る。	1名

# 令和6年度 山形労働局 安全衛生行政の主な行事予定

- 5月～9月 「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」
- 6月 全国安全週間準備期間(6/1～30)
- 7月 全国安全週間(7/1～7)
- 7月 県下一斉安全パトロール(7/2)
- 9月 粉じん障害防止総合対策推進強化月間
- 9月 全国労働衛生週間準備期間(9/1～30)
- 10月 全国労働衛生週間(10/1～7)
- 10月 山形県産業安全衛生大会(10/11)
- 10月～11月 やまがたゼロ災運動・2024
- 12月～2月 冬の労災をなくそう運動



厚生労働省 山形労働局・各労働基準監督署

山形労働局労働基準部 健康安全課	〒990-8567 山形市香澄町三丁目2-1	電話:023-624-8223
山形労働基準監督署	〒990-0041 山形市緑町一丁目5-48	電話:023-608-5256
庄内労働基準監督署	〒997-0047 鶴岡市大塚町17-27	電話:0235-41-2674
米沢労働基準監督署	〒992-0012 米沢市金池三丁目1-39	電話:0238-23-7120
新庄労働基準監督署	〒996-0011 新庄市東谷地田町6-4	電話:0233-22-0227
村山労働基準監督署	〒995-0021 村山市楯岡楯2-28	電話:0237-55-2815